



No.225

徳地町報

1974. 7/1

発行者 徳地町長
編集者 徳地町企画室
印刷所 今澄印刷所

生かそう一票

七日は参議院議員選挙



七月七日（日曜）は参議院議員の選挙が行われます。参議院議員の任期は六年で三年毎に半数ずつ改選され、今年の改選は全国区五十名、地方区七十六名、計百二十六名で、そのほか全国区非改選議員の中に四名の欠員が生じたため、補欠選挙が同時に行われますので、總選出議員數は百三十名となります。

選挙の主役はあなたです。義理や人情に負けず自分自身で判断して投票しましょう。

うつかり投票すると六年の不作を招くことになります。

ダム建設反対を陳情

県議会土木委員会

去る六月三日、県議会土木委員一行がダム現地視察の途中、山村開発センターにおいて、長嶺町長河村町議会議員、石田町議会議員島地川ダム対策特別委員長および、藤井島地川ダム建設反対陳情を受けました。

これに対し相川県議会土木委員長は「地域住民の福利を重視に慎重に対処したい」と述べ、「一行は直ちにダム建設予定現地へ向いました。

徳地町報

3

(3) 性質別歲出

（註）第1回の算定結果について、は、年度内に事業が完了しないため、昭和四十九年度に繰越分配と、繰越支出の効率化に努めた。昭和四十八年度下期の財政状況について、その概要を以下に詳説する。

（註）第2回の算定結果について、は、年度内に事業が完了しないため、昭和四十九年度に繰越分配と、繰越支出の効率化に努めた。

第5表 昭和48年度特別会計予算補正の状況 (単位千円)

特 別 会 計 名	9月予算 現計額	12月補正	3月 補正	最終予算額
1 國保事業勘定	169,113	2,150	25,977	197,240
2 國保直營勘定	17,000	180	645	17,825
3 住宅改修資金貸付	4,210	4,532	-	8,742
4 交通災害共済	4,416	-	494	4,910
5 福祉援護資金貸付	3,465	-	-	3,465
合計	198,204	6,862	27,116	232,182

第6表 町債の状況（特別会計） 昭和48年度末見込
(単位千円)

区 分	昭和47年以 来現在高	昭和48年度		現 在 高
		起 仙 見 込	償 還 見 込	
1 普 通 借	5,552	5,700	237	11,015
(II)住 宅 改 修 資 金 貸 付 事 業 借	5,552	5,700	237	11,015
合 計	5,552	5,700	237	11,015

第3表 昭和48年度一般会

款	項
總務費	總務管理費
農林水產業費	農業費
タ	林業費
土木費	住宅費
タ	タ
教育費	中学校費
災害復旧費	農林灾害費
タ	タ
タ	公共土木灾害費
タ	タ
社	

第4表 町債の状況（一般）

区	分	昭和47年度 末現在高
1 普 通 債		597,912
(1) 一 般 公 共 債		16,332
(2) 一 般 单 独 債		64,291
(3) 项 目 教 育 債		51,100
(4) 边 地 对 策 債		117,993
(5) 過 渡 对 策 債		101,166
(6) 同 和 对 策 債		29,421
(7) 公 有 林 獄 借 債		148,600
(8) 水 田 取 得 借 債		34,000
(9) 公 営 住 宅 債		35,000
2 灾 害 貸 旧 債		69,763
(1) 援 助 灾 害 債		47,557
(2) 重 大 灾 害 債		22,205
3 地 時 減 稅 補 てん 債		2,006
合	計	669,681

徳地町報

6

このようないふるいが、本町においては、も実施する公債の償還は応じられない事態となり、特に國庫助負押担については、新たな起債調達の発生も想される等、事業の執行に重大な支障をもたらしましてた。このため、

第1表 昭和48年度一般会計予算補正の状況(単位千円)

区分	金額	補正後
当初予算	1,610,500	
6月定期会補正(第1号)	225,000	1,835,500
9月定期会補正(第2号)	262,000	2,097,500
12月定期会補正(第3号)	△ 13,200	2,084,300
3月定期会補正(第4号)	△ 98,700	1,985,600
合計		1,985,600

2 章 昭和48年度一般会計予算補正の状況

計事業緑越の状況(単位千円) (1) 総入

事 略	名	金 額	款
町 史	編さん事業	3,960	
農業構造改良事業		18,957	1町
林業構造改良羽林業		7,010	2地 方 舞 互
小鶴住毛地区改良事業		25,494	3自 動 車 取
小集落地区改良事業		31,275	4地 方 交 付
舗野中原住民建設事業		1,700	5交 通 安 全
過年補助災(農施)		71,917	6分 担 金 及 負
現年单独災(農施)		963	7使 用 料 及 手
過年補助災(土木)		144,635	8國 地 附 付
現年单独災(土木)		505	9県 支 出
		306,416	10財 產 収

金對於明和48年慶志到來回過（即後毛四）

昭和48年度		現在高	歳入合
起倒見込	償還見込	(2)目的	款
225,900	34,669	789,143	1 税 金
—	1,030	15,302	2 懈 労
23,000	7,358	79,933	3 民 生
18,100	1,759	67,450	4 商 业
27,700	12,597	133,096	5 農 林 產 品
73,300	2,779	171,687	6 商 工
37,100	646	65,875	7 土 木
17,000	—	165,600	8 消 防
—	8,500	25,500	9 教 育
29,700	—	64,700	10 灾 害 復 延
24,400	8,166	85,997	11 公 金
16,100	4,546	59,111	12 複 金 支 出
8,300	3,620	26,886	13 子 娩
—	1,179	827	14 附 取
250,300	44,014	875,967	15 町

昭和四十八年夏の財政運営は、
公定歩合制の引き上げをはじめとす
る、中止内燃税問題の強調、織りこ
む、寺内閣財政政策から一派の
景気説明の諸施策がはじられて
中で、これが比較的安定的に
推進していったため物価も高騰
それに伴って消費貨物価も異常に高
高騰を示し、さらに、十月に入り、
石油問題が加わり物価は狂乱状態
に陥り、ついで、十一月における
大暴落が発生した。

德地町長 長嶺政美

財政状況の公表

